

萃

大阪発達総合療育センター機関紙
第51号 2024年 冬

社会福祉法人 愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

INDEX

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| ・年頭所感 船戸 正久 ……………1P | ・リレーエッセイ ……………3P |
| ・特集に寄せて 川端 秀彦 ……………1P | ・イベントピック ……………4P |
| ・当センター認定看護師のご紹介 ……………2P | ・寄付金と寄付物品 ……………4P |
| ・東海・北陸・近畿ブロック肢体不自由児療育研究会 ……3p | ・職員研修実施状況 ……………4P |

■年頭所感

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

船戸 正久



新年になり、今年こそ平和な世界が来るようにと願っていましたが、元旦に大きな震度7の「能登半島地震」が起きました。津波や火事、さらに大阪も含む広範囲の揺れが感じられました。再び多くの犠牲者の方々のニュースが報じられています。心から哀悼の念を捧げます。新しい1年も苦難の幕開けとなりましたが、引き続き利用者さま中心の良い医療と療育に努めていただきたいと思います。

昨年12月28日の院内学会の際に、初代理事長の梶浦先生の座右の銘を総務の方々に飾っていただきました。「謙虚と挑戦」、この原点を忘れずに職員の方々には、「利用者さまから謙虚に学び、それぞれの専門性についてベストプラクティスを目指して新しい挑戦を続けていただきたい」と願います。

今回の特集は、認定看護師の紹介です。それぞれの活動を知っていただければ幸いです。

■特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



日本看護協会が設定している資格認定制度に専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の3つがあります。認定看護の19の分野の中で当センターには摂食嚥下障害看護と感染管理の認定看護師が在籍しています。その方達にご自身の分野の特徴・重要性について語って頂きました。これら以外にも在宅ケア・皮膚排泄ケア・手術看護などの分野もあります。この特集記事に触発されて多くの方がワンランク上の資格を目指されることは、看護の質を上げるにあたって非常に有用かと思えます。

もう一つの特集は令和5年11月10日に当センター5階ホールにて当センター主催で開催された東海・北陸・近畿ブロック肢体不自由児療育研究会の報告です。この研究会は今回で18回目となり久々の現地開催となりました。12年に一度しか担当できないことを鑑みますと僥倖であったと思います。当センター小児科片山珠美先生のご講演を基軸にたくさんの発表があり、盛会のうちに終わることができました。皆様のご協力に感謝いたします。



摂食嚥下障害看護認定看護師について

看護部 牛尾 実有紀
看護部 宮下 千紘

誰にとっても、おいしいものを囲む団欒の時間は幸せです。「食べる」ことは、自然にできるようになる、食欲は基本的欲求である、と思われていますが、小児の摂食嚥下障害に関わっているとそれは簡単なことではないと感じます。

食べることが苦手な子どもご家族の中には、途方に暮れ、無理にでも食べさせないと命に関わるのではないかと不安になっておられる方もいらっしゃいます。正しい機能評価に基づいた、具体的なアドバイスが求められています。

摂食嚥下外来では、口腔機能、嚥下機能の問題を抱えた方の診療をしており、ここ数年は、食べることが進まない、という相談も増えています。

今年度からは、方針が決定した患者さんに対して、認定看護師を中心に、調理方法や食べさせ方の指導、感覚遊びやクッキングを通して食べ物に親しむ取り組みを「フォローアップ外来」として始めました。

外来診療以外の時間は、訪問看護や、病棟のミールラウンド、栄養委員として食形態の工夫・改善などを行っています。

医療的ケア児支援法により、地域ぐるみで子どもを支えることが求められています。今後は、ご家族だけでなく施設や学校の支援もサポートしていくことが課題です。

すべてのご家族と子どもが楽しく食卓を囲み、味わい、笑いあえることを目指したいと考えています。



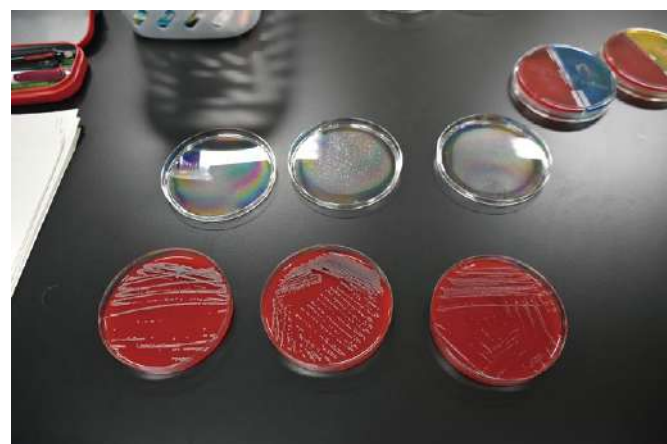
感染管理認定看護師について

フェニックス4階病棟 小崎 聖子

フェニックス4階病棟で勤務をしている看護師の小崎聖子と申します。2022年度に感染管理認定看護師になるための7カ月間の研修を受け、昨年12月に感染管理認定看護師の資格を得ることができました。

感染管理認定看護師は、感染管理に関する専門的な知識と技術を持って、利用者様・入所者様やご家族、またすべてのスタッフを感染から守るという使命があり、感染症の発生調査や感染対策の徹底、施設の衛生管理、感染対策に関する相談対応等が主な業務となります。

当センターの利用者様・入所者様は、日常生活の全般で様々な職種と関わり、濃厚なケアが必要となる方が多く、一方で自ら感染対策を十分にとれない方も多いため、ケアを行うスタッフやご家族から感染が伝播してしまうリスクが高くなってしまいうという特徴があります。そのため、感染症が流行している時期だけでなく、日頃からの感染対策を徹底していくことが重要となります。



微生物演習の様子

そこで、日頃からの感染対策を徹底していくにはどうすればよいのか、また感染症が拡大してしまった時にどう対応していくのかを考え、実践していくのが感染管理認定看護師の役割です。まだまだ知識も技術も不十分ですが、感染管理認定看護師としての役割を果たせるよう、精一杯努めていきたいと考えています。感染対策に関する疑問や不安なことなど、何かありましたらぜひ声をかけて頂けると嬉しいです。

令和5年度(第18回) 東海・北陸・近畿ブロック 肢体不自由児療育研究会を開催して

療育部部长 井ノ上 智世
わかば病棟師長 土井 知栄子

令和5年11月10日(金)、当センター主催で令和5年度(第18回)東海・北陸・近畿ブロック肢体不自由児療育研究会を5階ホールで開催しました。この研究会は、1年に1回、東海・北陸・近畿ブロックの肢体不自由児施設12施設が順番に担当し開催している研究会です。新型コロナウイルス感染症の影響でWebやオンライン開催が続いていましたが、4年ぶりに現地開催となりました。

今回は、9施設31名が参加、特別講演と11題の演題発表を聴講しました。会場内では、当センター名誉理事長梶浦先生が開発した動的脊柱装具(DSB)やギブスアートの展示も実施しました。ギブスアートとはわかば病棟の古屋さんが子どもたちのギブスに描いているイラストのことです。古屋さんには研究会のプログラムの表紙イラストも描いていただきました。

特別講演は、当センター小児科片山珠美先生の「子どもの摂食嚥下について」です。片山先生には嚥下の解剖生理や当センターでの摂食嚥下外来での取り組みについて講演していただきました。講演を聴講して、発達期の摂食においては機能評価・食形態調整・姿勢や環境調整、地域での集団生活が大切なことが理解でき、成長・発達を促す大切な機会である食事について改めて考える時間となりました。

演題発表では看護師、保育士、介護福祉士、PT、OT、STと多職種からの演題発表がありました。発表内容も事例検討・業務改善・アンケート調査と多岐にわたり、どの発表も興味深いものばかりでした。発表後の質疑応答も活発に行われ、学びや気づきをより深める事ができました。この研究会で得たたくさんの学びを今後、現場で子ども達やスタッフへ伝えていければいいと思っています。

研究会開催にあたり約一年前から、わかば施設長川端先生を中心に実行委員が集まり準備を進めました。皆でアイデアを出し合って作った手作りの研究会でしたが、無事に終わることができほっとしています。実行委員のメンバーの皆さま、一年間お疲れさまでした。

次回、当施設が主催するのは12年後です。皆さま、その際はご協力よろしくをお願いします。

ご参加、ご協力いただきました全ての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。



～表紙デザインへの想い～
同じ疾患を持つ子どもでも、性格やバックボーンは様々。それぞれちがう色を放って一生懸命日常を過ごす、当センターの子どもたちの姿をイメージして描きました。 古屋 智子



フェニックス4階病棟 三樹 みゆき

こんにちは。宮下看護師よりリレーエッセイのバトンを受け取りました。

皆さんは青色の回転灯を装備した自動車をご存じでしょうか。青色防犯パトロールカー(青パト)といいます。安心して安全に暮らせるまちを実現するための自主防犯パトロールを行います。私は災害時に地域の関りが大切だと考え、町会の敬老会やふれあい喫茶でボランティアを行ったのがきっかけで2016年から青パトに乗るようになりました。月に1回午後、小学校の下校時間に合わせて1時間ゆっくりと学区内を回ります。子どもたちの見守りのほか迷子になった高齢者を警察にお連れしたこともありました。これからも安全運転で続けていきたいと思っています。



イベントピックアップ

クリスマス会をしました

12月10日(日)5階ホールでクリスマス会を開催しました。午前中に4階病棟、午後から3階病棟が行い、クリスマスに因んだ出し物で利用者様と楽しい時間を過ごすことができました。



感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

(R5.10 ~ R5.12)

(R5.10 ~ R5.12)

一般寄付金

| 月 | 寄付者(敬称略) | |
|-----|---------------|-------|
| 10月 | 匿名 | 本園 |
| | 大阪市港区社会福祉協議会 | あさしお園 |
| | 大阪市港区社会福祉協議会 | ゆうなぎ園 |
| 12月 | (株)万代 | 本園 |
| | 匿名 | 本園 |
| | 港区民生委員児童委員協議会 | あさしお園 |
| | 港区民生委員児童委員協議会 | ゆうなぎ園 |
| | 細井雅之 | あさしお園 |
| | 匿名 | 本園 |
| | 楽基金 1件 | 本園 |

寄付物品

| | 寄付者(敬称略) | 物品名 | |
|-----|------------------|-------------------|----|
| 10月 | 匿名 | 歩行器SRC | 本園 |
| | 匿名 | おもちゃ、電池 | 本園 |
| | 匿名 | 車イス | 本園 |
| | 匿名 | パソコン等のスイッチ・ボタン | 本園 |
| 11月 | 匿名 | バザー用品 | 本園 |
| | 匿名 | トミカ トーマス | 本園 |
| | 金村示得 | 座位保持椅子 | 本園 |
| | OGIMOテック開発室 廣瀬元紀 | アームワング | 本園 |
| | 匿名 | だるまさんシリーズ絵本 | 本園 |
| 12月 | 匿名 | クレパス、クレヨン | 本園 |
| | 柏木淳子 | 電子ピアノ(中古) | 本園 |
| | 匿名 | 玩具(カシオひけますトーンピアノ) | 本園 |
| | 匿名 | クレヨン | 本園 |
| | 手塚明也 | 絵本等 | 本園 |



職員研修実施状況

令和5年10月~12月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

教育研修実施

| 実施日時 | 企画部署 | 研修名 | 講師 | 参加人数 | 場所 |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|--|------|--------|
| 令和5年10月18日(水) 17:40~18:40 | セイフティマネジメント委員会 教育研修部 | 医療安全管理研修 「密着! セーフティマネジメント24時!?!」 | 医務部訪問診療科 部長 飯島禎貴 | 68名 | 5階ホール他 |
| 令和5年11月9日(木) 17:40~18:40 | 感染管理委員会 教育研修部 | 感染管理対策研修 「ノロウイルス感染対策」 | 看護部 主任 小崎聖子 | 123名 | 5階ホール他 |
| 令和5年11月29日(水) 17:40~18:40 | 教育研修部 | 「海外研修報告会」 | リハビリテーション部 中村まい香 | 56名 | 5階ホール他 |
| 令和5年12月8日(金) 17:40~18:40 | 教育研修部 | 「身体づくり研修」 | リハビリテーション部 部長 佐藤邦洋 科長 須貝京子、科長 河中善真 主任 田井宏治、副主任 馬場新太郎 | 30名 | 5階ホール他 |

院内学会

| 実施日時 | 企画部署 | 演題 | 発表者、講師 | 参加人数 | 場所 |
|------------------------------|---------|--|--------------------------------------|------|--------|
| 令和5年12月28日(木) 13:30~17:00 | 教育研修部 | ●演題発表 「グループホーム入居への意向を示した利用者の自立支援への取り組み」 | 看護部・療育部フェニックス 4階病棟 渡邊直美 浅田早紀 大北芽依 | 223名 | 5階ホール他 |
| | | 「給食に関わる専門職として今できること」 | あさしお園 南昌輝 森哲司 望月裕貴 | | |
| | | 「フェニックス病棟における会社設立と運営の取り組み ~社長となった利用者様の作業療法介入を通して~」 | リハビリテーション部作業療法科 藤岡晴和 | | |
| | | 「できる限りの治療を望む重症心身障害児家族のライフストーリー」 | 看護部フェニックス3階病棟 水野真有 | | |
| | | 「センターにおける建築設備と営繕の取り組み ~健やかな環境の維持・改善を目指して~」 | 事務部総務課 恵幸弘 | | |
| | | 「私たちがしている事 ~地域医療の場合~」 | 医務部訪問診療科 飯島禎貴 | | |
| ●講演会 「分娩麻痺 -もうひとつの麻痺性疾患-」 | 院長 川端秀彦 | | | | |



大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)
主として重症心身障がい児者
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)
〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134
訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会
発行責任者・船戸正久

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児
〒552-0004 港区夕風2-5-3
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524
きらり(共同生活援助事業・短期入所事業)
TEL:06-7501-0328 FAX:06-7501-0330
ひなた(生活介護事業)
TEL:06-7501-0319 FAX:06-7501-0330
みらい(放課後等デイサービス事業)
TEL:06-7501-0282 FAX:06-7504-0212
〒546-0035 東住吉区山坂5-12-5